

令和5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立 清水 小学校

児童数

66

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	12.89	17.00	28.37	42.11	36.07	9.52	150.44	19.81	48.54
大阪市	15.97	18.72	32.66	38.27	45.10	9.50	147.92	20.35	51.13
全国	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52	52.59
女子	12.59	18.32	32.89	38.36	31.96	9.89	130.57	10.85	51.38
大阪市	15.88	17.85	37.44	36.49	34.75	9.74	140.20	12.69	52.67
全国	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22	54.28

結果の概要

・男子は上体起こし、反復横跳び、立ち幅跳びが大阪市平均を上回り、反復横跳びは、全国平均も上回った。握力、上体起こし、長座体前屈、20mシャトルラン、50m走、ソフトボール投げは大阪市・全国平均を下回る結果となった。

・女子は上体起こしと反復横跳びが大阪市平均を上回り、上体起こしは、全国平均も上回った。握力、長座体前屈、20mシャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げは、大阪市・全国平均を下回る結果となった。

・体力合計点においては、男女ともに大阪市・全国平均より低い結果となっている。また、種目によっては大阪・全国平均を大幅に下回るものもあり、特に握力と長座体前屈においては、その差が顕著である。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

トップアスリートの招聘、区役所の運動能力サポート訪問などで外部講師を招き、走り方や跳び箱などの指導を受けた。校内では、業間かけ足・縄跳び週間を取り入れたり、学級でのみんな遊びなどで運動に関心を持つような取組を行ったり、体を動かす機会を増やすようにしている。また、体育などの運動で使う用具類の数も充実しており、運動面における環境は整っている方であるといえる。

児童質問紙の「あなたにとって運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツは大切なものですか。」の項目で肯定的な回答の割合は、男子が、73.1%、女子が、57.7%であった。男子は、大阪市・全国平均ともに上回っており、女子は、全国平均にはわずかにとどかなかったものの大阪市平均は上回っている。1週間の総運動時間は、女子は、大阪市・全国平均程度であったが、男子は、大阪市・全国平均よりも低い。運動の大切さについては理解しているが、実際に体を動かすことにはつながっていない児童もいる。

今後は、筋力や柔軟力などの苦手部分を伸ばしていくように、学校全体で系統立てた学習をしていく必要がある。各学級に置いてあるハンドグリップの活用を促したり、体育の授業のはじめに行うストレッチの周知をしたりして、各学年の実態に合わせ、筋力や柔軟力の向上のため継続的に取り組むことを進めていく。